

SSKR

CIL東大和通信

第14号

編集 NPO法人 自立生活センター・東大和
〒207-0013 東京都東大和市南街1-22-6 シティコート南街1F
TEL : 042-567-2622 FAX : 042-567-2912
EMAIL : cil-ymt@violin.ocn.ne.jp
発行所 東京都世田谷区砧6-26-21
障害者団体定期刊行物協会 定価 100円

1. 新理事長挨拶

この度、NPO法人自立生活センター東大和の理事長が交代いたしました。皆様へご挨拶させていただきます。

『理事長就任にあたって』

この7月から新しく理事長に就任いたしました、海老原 宏美です。

自立生活センター東大和がNPO法人格をとって以来、お忙しいことを承知で多智さんにずっと理事長をお願いしてまいりました。そして、実際になかなかCILの業務に関わってもらう時間を取りていただくことが難しく、実際のところは事務局長の田渕さんに、理事長の役割をかねた、大きな責任とプレッシャーを一手に請け負っていただきました。そのおかげで、その間、私は自由奔放に、やりたいことをさせていただき、外部のセミナー参加や地域でのネットワーク作りを通して、人脈を作ったり、いろいろな経験をつむことに随分時間を割けたわけです。多智さん、田渕さんには本当に感謝しております。今後は、今までの経験を通して得たものを生かせるよう、そして田渕さんの今までの負担を少しでも肩代わりできるように、そして、どんな障害を持っている人でも地域で当たり前の生活を送れる社会にしていくよう努力していくといつも思っています。



内容

1. 新理事長挨拶、『CILにかける思い』	1
2. イベント活動報告	
(1) 鎌倉IL	4
(2) バーベキュー大会	5
(3) 府中花火IL	6
3. DVD鑑賞会	7
4. 利用者さん宅・突撃訪問!! 第一弾「河野高明さん」	8
5. 祝・石井さんのお子さんが生まれました。石井さんBEBE誕生秘話	9
6. エッセイ小日向	10
7. THE・夏の一言? 夏に一言? Say anything!!	12

『CILにかける思い』

そもそも、私が初めて CIL を知ったのは、1993 年の夏、兵庫県西宮市にある自立生活センター「メインストリーム協会」主催の「障害者甲子園」に参加したときです。全国から集まった障害を持つ高校生と、関西の普通校に通う「普通な」高校生と交流をしながらすごした障害者甲子園は、それまで親や先生など、大人に依存しがちだった私の生活を確かに変えました。さらに大学を卒業した後、就職もせずにぶらぶらしていた私に、野宿しながら韓国を歩いて縦断するバリアフリー運動の旅「日韓TRY 2001」の実行委員のお誘いをかけてもらい、またもや人生を変えるきっかけを与えてもらいました。

そんな、自立生活センターというもののとのかかわりを通して、自分も同じように、自分の体験を通して、障害を持つ人の生活を充実したものにしていくサポートに関わってみたい、という気持ちが沸き起こるようになりました。そんな時、見学先で出会った田渕さんに「東大和に CIL を新しく作ることになった。まだ重度障害者の自立の前例もない」という話を聞き、「前例がない」という部分にだけ無条件に反応した私は、2001 年の夏、深く考えることもなく実家のある川崎から東大和市に移住することを決めたのです。



そこから自立生活センター東大和が設立するのとほぼ同時に、自立生活を始めて 7 年目。自立生活を送りながら、自立生活センターで活動をしながら、今までやってきて、思うことは沢山あります。めまぐるしく変わっていく制度、さまざまな利用者さんのタイプ、行政とのやり取り、地域とのつながり・・・。私たちはどこへ向かうのだろう。そんな素朴な疑問を抱えている最近でした。

そんな折、2 月に大阪で所長セミナーが開催され、障害者運動の先駆者である近藤秀雄さんの話をじっくりお聞きする機会が与えられました。今まで、何度か障害者運動の歴史を聞いたり見たりすることがありました、なかなか生の声(?)で語られるものに触れる機会はなく、とても感銘を受けました。過去の先人たちが私たちに残してくれたもの。私たちが当たり前のように大阪に集まつたことさえ、革命的なことだということ。今度、私たちは次の世代に何を残したいのか。何を残していくべきなの

か。運動が停滞している今こそ、CIL の存在意義を根本から見直し、その役割を明確にし、夢を語りながら周囲にそれを広めていかないといけない、ということ。

制度も変わりました。障害の種別も増えて複雑化しています。支援の仕方は変えていかなければならぬ時期かもしれません。

でも、本来の目的は変わっていないし、変えてはいけないと思います。

CIL の役割。それは「人と人とをつないでいくこと」「人と社会をつないでいくこと」そして最終的には「誰もが対等な関係を築ける社会をつくること」だと、私は思っています。あえて、「障害者と健常者が」というような言葉は使いたくありません。「障害者」は「障害者」である前に「人」ですよね。障害があってもなくても、お互いに人として理解しあい、対等に付き合っていける社会を、私は作っていきたいです。のために、ILPひとつとっても、派遣ひとつとっても、「これは、本当に人と社会をつなぐためのものになっているか?」「本当に人と人が理解しあうためのものになっているか?」と原点に立ち戻りながら、一つ一つの活動につなげていきたいと思っています。

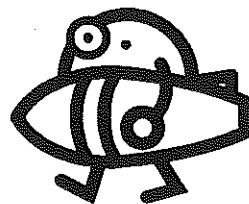
と、夢は大きく語ったものの、実際の業務のあれこれについては、まだまだ無知なので。しばらくは周囲の皆様に多大なご迷惑をお掛けしつつ、になると思いますが、いろいろと、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひいたします。



2. イベント活動報告

思えば色々やったもんです。

夏のい Vaughanと盛りだくさん。 いってみよー！！！



(1) 鎌倉バス

日時：6月13日 場所：藤沢～鎌倉・小町通り

リフト付バスを借りきって22人が参加しました。新年度からのアテンダントも参加しており、団体でバス移動だったので、アテンダントがいろいろな利用者さんと接することができました。話をして仲良くなり、どんな人なのか互いに知り合いました。

江ノ電の駅に到着し、待望の江ノ電に乗り込みます。江ノ電は4両編成だったので、二手に分かれることにしました。江ノ電は、町の中を進んでいくため、歩行者が間近を通ります。途中、江ノ電の線路脇には、アジサイが咲いているところがあり、キレイでした。やがてなかなか見えなかった海が見えてきます。ウインド・サーフィンをする人、船、カモメ、まさに初夏の海でした。やがて、鎌倉駅に到着。みんなと合流したら、集合写真をカシャリ！！

また解散して、小町通りで自由行動でした。時間中は寿司や、そばを食べた人、立ち食いをした人、お土産を買った人、いろんな過ごし方がありましたが、時間はあっという間に過ぎていきました。帰りのバスはなかなか静かなものでした。ちょっとお疲れの様子の人もちらほらといましたが、楽しいバスの旅でしたね。



(2) バーベキュー大会



7月17日(木)、事務所前の駐車場にてバーベキュー大会をおこないました。

この日は天気に恵まれ、気温は34度まで上昇。3メートル四方のテントを2台設置して日よけにしましたが、それでも真夏の日差しの洗礼を受けながらの、アツ~い会となりました。

今回の参加者は27名。猛暑の中、はるばる都心から駆けつけてくれた方もいて感激です。



駐車場ではグリルを2台設置し、野菜やお肉を焼いていきます。さらには事務所内でホットプレートを使って、チャーハンや焼きそばを作りました。

午前中からせっせと切り続け、発泡スチロールの箱に山盛りになった野菜やその他の食材も、参加者全員の暑さに勝る食欲で難なく消費！メロンやケーキなどなど、おいしい差し入れもたくさんいただきました。

した。

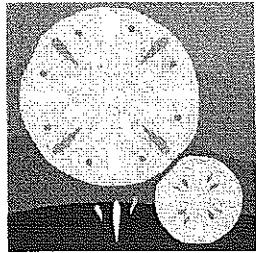
来年は何を焼こう・・・。秋に秋刀魚焼き大会も面白いかも！と、早くも妄想を膨らませています・・・。

(小林)

(3) 府中花火つゝし

日時：7月27日（日） 場所：府中東京競馬場

17:30にJR立川駅に集合し、府中本町駅へ。府中本町駅の改札で談笑していると、いつの間にか人通りが多くなっている競馬場に向かいます。



照明が落ち、待望の花火が始まると、空中でパーン、パーンと大輪の花が咲きます。歓声を上げたり、ジーっと見入っていたり、ビールを片手に、とおもいおもいに鑑賞していました。小さい子向けのプログラムでは、「崖の上のポニョ」の歌に合わせて、リズミカルに花火が上がり、楽しい雰囲気でした。次に、喜びの歌に合わせた演目では、堂々とした力強さがありました。特に大きく盛り上りました。そういうしていと、いよいよフィナーレです。大量の花火が次々に上がり、息つく間もないほどでした。終わると、皆さん口々に、キレイだった、来てよかったと言っていました。参加者さんが他の参加者さんやアテンダントさんと楽しそうに話していて、親睦が深まりました。時間すれば、30分ほどでしたが、とっても楽しい夏の風物詩でした。

<外出ILPの意義>

日常生活の中で外出の機会がある。遊びに行こう。でも、「どこへ行けばいいの?」っていう人もいるんではないでしょうか。「もう、色々なところに行っているよ」という人もいますが、考えてみると、外出することひとつとっても、多くの自己決定をする必要があります。

さて何をしようか、それをいつしようか、そのために何が必要なんだろうか、ということを考えます。でも経験が少なければ、最初はなかなか決められないと思います。なので、ILPに参加することで、選択する参考にしてもらったり、普通と一緒に楽しむために、企画しています。

また、企画で外出することで世界が広がり、もっと外出したい、もっと色々なことをしたいという意欲が出てきますし、友人ができたり、知人、アテンダントさんとの関係作りの場にもなると思います。

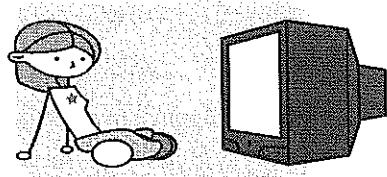
3. DVD鑑賞会

日時：7月29日(火) 午後1時半 場所：事務所・相談室

上映作品「レインマン」

知的障害のある兄に最初はお金目当てで近づくんですが、やがて本当の兄弟になっていくお話でした。弟は、兄のこだわりが最初は理解できず、イライラしたり、怒りを表現していましたが、判ってくるに従い、ありのまま受け止めていく様になっていましたのが、印象的でした。でも、怒りを素直に表現する弟に、そういうのが家族の中では、当たり前のことなのかも知れないとも思います。

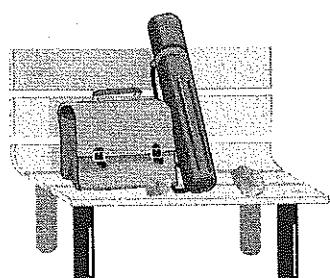
DVD鑑賞会は月に一度、行っています。
ぜひご参加ください。また、こんな作品をみんなで見たという要望もお待ちしております。



< DVD紹介 >

利用者さんに映画を紹介してもらいました。

「私のおすすめ映画は、『i am sam』、『大好き！！』この二つは知的障害のある人のことを描いた作品で、『明日への記憶』、『博士の愛した数式』は記憶障害のある人のことを描いた映画です。そのなかで『i am sam (アイアムサム)』を皆さんにご紹介致します。この物語のあらすじは、知的障害を負っている父親と幼い娘の純粋な愛を作ります。大好き！！はテレビドラマになって今は、DVDにはされていません。



4. 利用者さん宅・突撃訪問！！

第一弾「河野高明さん」

9月某日に、河野高明さんのお宅に突撃してきました（笑）

河野さんは、A市で自立生活・三年目を迎えました。自立生活を続けていくのにあたって、A市との介助時間の交渉を重ねましたが、壁は厚く介助時間が思うように延びず、工夫して対応している部分があるそうです。

一人暮らしをしていて、良い点は、何時になにをするのか、日中何をするのか、自由に決められるところだそうです。でもそのためには、アテンダントの人を使って、いつまでに外出の準備をしておく、というようなきちんととした計画性のある行動が必要になるということでした。

河野さんがハマっていることは、プロ野球チームの埼玉西武ライオンズの応援です。趣味というよりは、もうライフワークの域に達しているのではないかでしょうか。部屋の中には、ライオンズの選手とのツーショット写真がたくさんあり、西武愛を感じました。年に一回の宮崎キャンプにも、10年連続で参加しています。そのときは2時に起きて空港にいくそうです。

普段は、デイサービスで展示会のための習字を書いたり、事務所で打ち込みの手伝い、水泳をしにプールにいったりして、週5.6日は、外で何らかの活動をしています。本人曰く、「俺は、西武バカだから、もっと他にも色々やりたいんだよね。」とのことでしたが、多くのことを今でもこなしており、とても活動的な人だと思いました。



私も負けないようにしたいなと思いました。河野さんは、今後、一緒に何らかの活動をしたり、ワイワイがやがや出来る友人を増やしていきたいんだとも言っていました。なので、友人募集中です☆

※尚、今回の文章は、河野さん本人の承諾を取り、掲載しているものです。

5. 石井さん BEBE 誕生秘話

CIL 東大和の石井さんのお宅に、4番目のお子さんが産まれましたので、いろいろとインタビューしてみました。産まれたのは、実咲ちゃんという女の子です。出産自体は軽かったので、

石井さん曰く、「産まれてきてくれたときから、親孝行しているんですね。」

Q1. お子さんの成長を見て思うことはどんな?

ねがえりをうつたり、首が据わったりと一ヶ月ごとに違うので、いろいろな成長が待ち遠しい。

Q2. 子育てで大変なことは?

特に大変ということはないんです。今は子育てに専念できるんだけど、仕事を再開した後が、仕事と子育ての両立が大変になるんだろうなあと思います。子育ては、私が母親として育ててもらっているという感じです。

Q3. ご兄妹たちは子育てを手伝ってくれますか?

みんな、やってくれます。長女は、下の子(実咲ちゃん)が泣いているのに気づくと、抱いてあやしたり、お風呂に入れてあげたりしています。次女もたどたどしくて、一人で抱っこはできないけど、なんとかかまっています。長男(一番上の兄さん・小5)もかわいいといって、呼びかけたり、かまってくれる。男性の割合が少なくなって、肩身の狭い思いをしているみたいですね。みんな実咲ちゃんの存在をうれしく思っているみたいです。(三人のときより)さらににぎやかになった。これから大きくなると、さらににぎやかになるんだろうなと思います。

Q4. どんな風に育っていってほしいですか?

やりたいことをやって欲しいです。それと、健康に育って欲しい。でも、逆に健康だからこそ、親の思い通りにはいかないけれど、いろいろとこうなって欲しいというのはでできちゃいますね。それと子育ては難しい。四人も産んで、育ててますけど、まだまだわからないことがいっぱいです。だから、どのように接していくってあげれば良いのか、いつも考えています。



なんだか、取材してお話を聞いていて心があつたかくなりました。家族の楽しい団欒の様子が伝わってきました。ありがとうございました。

6. エッセイ小日向

「『どうしよう』がチャンス」

挑戦は大事だよなあと思い、やってみたことを書いてみたいと思います。8月の末に『学生時代のサークルのOBと現役生との合同合宿』というものに行ってきました際の話です。

相談すべきことは相談しましたが、今回は、基本的に準備は私が一人で判断してやりました。私にとって初めてのことでのことで、妙な達成感があります。大袈裟かもしれません、「自分もやれるじゃん」とびっくりしました。

準備は、移送の車と移動式リフトの手配、介助者の調整、荷物整理等です。荷物に関して、衣服やタオルはまだ良いのですが、私は、人工呼吸器と吸引ケアが必要なので、そのための用具には細心の注意を払いました。吸引カテーテルは予備一箱、アルコール薬品3本、会話に必要な部品2つといった具合に、ある程度余裕のある個数にしました。

私のいたところは、学術発表のサークルでしたが、夜は普通に飲み会でした。私はあまり飲めない体質なので、すぐに酔っ払ってしまいました。そして眠気に耐えていましたが、耐え切れずに深夜二時半寝ようと思い部屋に戻りました。自分の中では、「よーし、リフトでベッドまでちょちょいの Choiだ」と思っていました。ですが、いざ吊り上げると…、

「あ”つ」

トラブル発生です。ベッドの下に吊り上げリフトの足が入らないんです。なんと今回のホテルにある木のベッドには、下にスペースがありませんでした。どうしよう…、アテンダントの男子としばし沈黙…。

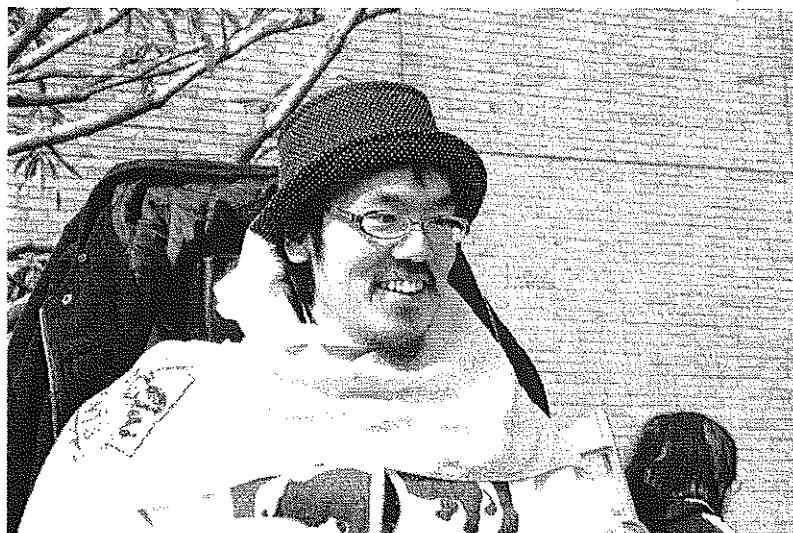
そのとき、頭の近くにフッと豆電球が見えました。キました。あれです。ひらめきです。苦肉の策で、ベッドの横にリフトを置き、リフトの両足の間にベッドマットを敷き、その上に着地。そこでもうZzz、就寝です。さすがに安眠というわけには行きませんでしたが、なんとかなりました。

トラブルを経験することは非常に大切なことですよね。トラブルによって、次はもっとこうすればうまくいくとか、自分でやったことは自分のせいなので、責任感をもたなくてはいけないなと思うことができます。

そこで、支援者が答えを教えるのではなくて、一緒に考えたり、「こう考えられそうだね」と選択肢を示すとか、トラブルに直面したときは、そういう姿勢をとって欲しいと思います。もちろん、すべての人が自分ひとりで判断できるわけではないし、そういう余裕のある状況であるとは限りませんので、難しいところではあります。

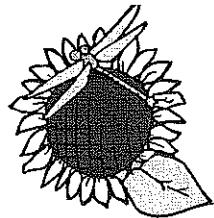
でも、トラブルとか出来るのかどうか、判らないことに向かうときに、人は成長できるんだと思うんです。

今回の経験でそんな風に感じました。



7. THE・夏の一言？ 夏に一言？

Say anything!!



過ぎ行く季節に思いを馳せてってなわけで、夏の終わりに言っておきたいことを聞いてみました。お楽しみ?ください。

夏と言えば夏休み、子供の頃はパラダイスだったのに。

親になったら「魔の40日」です。しかも、毎年「親子日記」を全力で作ってしまうのもチョット寂しいです。 (田村さん)

冬は冬眠、夏は活動期。生粋の夏娘です!!

今年は自分で浴衣をリフォームして、3度も花火に行っちゃった♥

早く来年の夏が来ないかな～!! (EBさん)

忙しくて充実した夏 夏バテする暇もないくらい

移送がいっぱい♥ 夏生まれの夏男です!でも…今年は暑すぎだー。(馬場さん)

夏休みに帰省した際、実家でゴーヤ料理を食べて以来、ゴーヤにはまりました。昔は苦手だったのに、今はあの苦味がやみつきです。ビールが初めて美味しいと感じた時の感覚に似て、味覚が大人になったことを実感した夏でした。(小林さん)

ゲリラ雨で実家が水没した。

これも地球温暖化の仕業?ホントに真剣に怖いです。私
氷が溶けて水位が上がったら、ウミガメはどこで産卵するの?
縁の地球を後世に残すためCIL何かを始めましょう。 (田渕さん)

夏は好きなんですが、嫌い…。おまつりやイベントがいっぱいいろいろな所であって、楽しいこともたくさんあるんですが…、暑いのが…ダメ。バテたら何もせずに、涼しくなる日を待つのみ (尾形さん)

キンチヨーの夏 バテバテの夏 カンドーの夏 スッキリの夏
夏バテして大変でしたが、人と関わるのって楽しいなとか
やれることをしっかりやろうって気づけた良い夏でした。 (小日向)

この夏は、いつもより、熱っつい、熱っつい夏でした！もう火傷スンゼン…。
海者原さんと行った西宮の自立生活センター・メインストリーム協会で
出会った人達のキラキラした瞳に、心を燃やされてしまったわけです。
とにかく、人生を楽しむことが最優先、同じアホなら踊らにゃ損々というノリに
私もすごく刺激を受けて、お仕事へのモチベーションがめっちゃ上がった夏でした。

(白石さん)

夏の雨がきらい、好きなのはバーベキューが出来ること (平石さん)

<好きなところ>

冷やし麺が美味しい・空が青く雲が白いところ・緑が青々しいところ

<嫌いなところ>

強い日差しと紫外線・蚊がはびこる・たまにダニに出くわす・

汗をかく→汗臭くなるのがイヤ (>_<) (野田さん)

一日一食 冷ややっこ (竹内さん)

今回は時間の都合上、利用者さん等にお聴きすることができませんでしたが、次号から一言コーナー
でも積極的に、聴いていこうと思っています。



編集後記

残暑ももう一息で、クリスマスはあとどのくらいかなと気が早いこの頃。世の中は、日本の首相選や、アメリカ大統領選と、いろいろな CHANGE(チェンジ)が起こります。私も変わるところは良い方向に変わりつつ、良いところは持ち続けていきたいと思っています。ではまた。

小日向

<会費納入のお願い>

NPO法人 自立生活センター・東大和は皆様の会費が運営資金となっております。今後も障害を持っていても自分らしい地域生活を送るために必要な様々なサポートを提供していくためご協力ををお願いいたします。



個人会員：3,000円／1口

賛助会員：3,000円／1口

団体会員：10,000円／1口

<受付時間>

平日9：00～18：00

緊急連絡はいつでもつながります

NPO法人 自立生活センター・東大和

〒207-0014

東京都東大和市南街1-22-6 シティコート南街1F

TEL：042-567-2622

FAX：042-567-2912

EMAIL：ccl-ymt@violin.ocn.ne.jp

